

# 議会ウォッチ 48号

2017年4月



## ココに注目!

29年度予算 《東峰見聞録》 P2

地方創生事業 《効果は?》 P4

ここが聞きたい! 《一般質問》 P6

# 大型事業は持続でできる計画を!!



平成29年3月定例会は3月9日から17日までの会期で開催しました。条例の制定・改正及び一部改正5件、指定管理者の指定1件、28年度補正予算3件、29年度予算4件を慎重審議しました。29年度一般会計予算審議では、地方創生事業(4ページ)や小石原川ダム関連事業、新規事業の継続性に質疑が集中し、事業のさらなる検討を行い、執行の前に議会と合意の上進めることを求め(3ページ下)、原案どおり可決しました。また、9人の議員が一般質問を行いました。

## 質疑あれこれ

### 東峰テレビジョン

**議員** ハイビジョン化とデータ放送を導入する経緯は。  
**担当課** ハイビジョン化はケーブルテレビ審議会や地区懇談会等で映像が見づらいという意見があったこと。データ放送導入は、行政情報等が時間帯の制限により、自由に見られる機会がないため。  
**議員** 使用料金を値上げする可能性は。  
**担当課** 機械導入から6年が経ち、使用料金の見直しについては、将来を見据えた上で、今後ケーブルテレビ審議会にて協議していきたい。

### 農業共同利用施設について

**議員** ダム関連事業として建設が計画されているが、管理運営面において総合的な合意がなければならぬのでは。  
**担当課** 大字小石原地区の多面的機能支払交付金の利用等の3団体と協議を行い、共同で使える施設として考えていきたい。ライスセンターを運営する東峰村農業生産組合との棲み分けも注意していく。

### 観光情報ステーション

**議員** 事業内容と今後の展開は。  
**担当課** 観光の相談窓口や催事を業務として行う。将来的には村の観光資源を活かし、観光PR等を進めていく観光DMO(観光地域づくりを行う組織)という組織設立を構想している。

## 検討の余地あり!

- 予算審査特別委員会質疑より
- トーキョーディネータ事業
  - 観光情報ステーション事業
  - 水源地域整備事業
    - ・ 水源の森交流館(旧小石原小学校)
    - ・ 農業共同利用施設

### 28年度補正予算質疑より

- イッピンプロジェクト

右記事業については十分に検討する必要があるため、執行する時は議会と協議し合意の上行うこと、また、旧宝珠山小学校運動場芝生化についても議会と協議をして行うことを執行部に要求しています。

## 一般会計予算

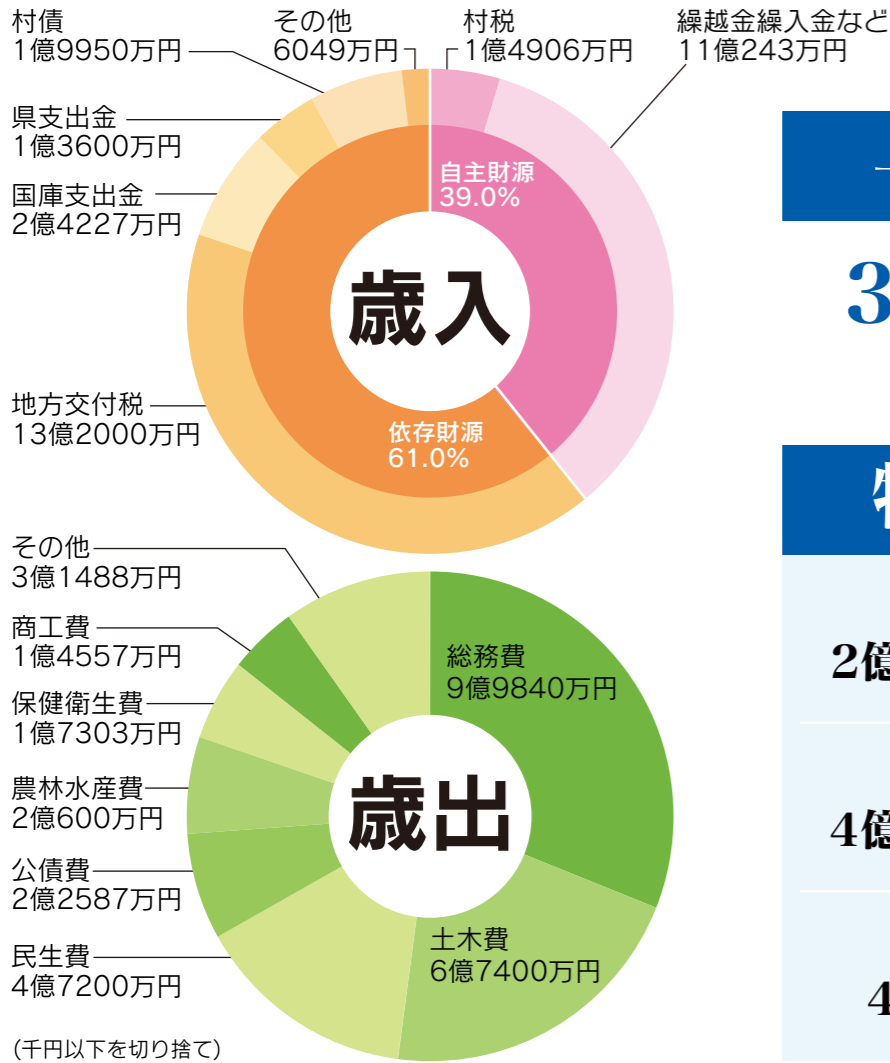
32億977万円  
(5.6%減)

## 特別会計予算

簡易水道  
2億1517万円(67.2%減)

国民健康保険  
4億2797万円(12.9%増)

後期高齢者医療  
4618万円(13.0%増)



**議員** 芝生化の経緯と維持管理は。  
**村長** 以前からの一般質問や住民からの要望もあり、高齢者のグラウンドゴルフや幼児の遊び場として事業化した。管理は老人クラブの人たちにお願ひし、村の負担を軽減できる運用を図りたい。

### 旧小石原小利活用について

**議員** 収益性を考えて、もう一度計画を立て直す必要があるのではないか。  
**担当課** 収益性を踏まえ、今後ダム対策委員会やプロジェクト委員会等で再度協議し、議会の合意の上で進めていきたい。

### 旧宝珠山小運動場の芝生化

# 折り返しの3年目、効果は表れているか？

## 地方創生事業

27年度に策定された、まち・ひと・しごと創生総合戦略も3年目を迎えます。現在実施中の事業が、目標に対しての効果を検証するため、議会では、地方創生調査検証特別委員会を立ち上げ、中間検証を実施。29年度予算についても重点的に説明を受け、審議しました。

## 予算審査特別委員会

### 空き家解体補助金

**議員** 空き家解体補助金は空き家バンク事業と関連するものか。  
**担当課** 空き家解体補助金は空き家バンクに登録し、解体後宅地として利用可能な物件に対して補助するもの。空き家バンクへの登録推進にもつながる。

## 陶器商社設立事業

**議員** 各窯元が独自の販売ルートを持っている中で、地域商社を通して陶器の販売が出来るのか。また、意思確認は出来ているのか。  
**担当課** 現在、コンサルタントが窯元の意向調査をしている段階。

**議員** 全窯元が参加しない状況であっても、事業は推進していくのか。  
**担当課** 加入率が重要であり、29年度はしっかりと調査し、流通等を理解していただき進めていきたい。

**議員** 波佐見焼、三河内焼に産業建設常任委員会も調査に行き、地域商社は難しいと感じたが、どうか。  
**担当課** 波佐見に調査に行き、現在の波佐見焼が立ち上がるまで20年かかったことを聞き、早急にはできないが数年かれば出来るのではないかと思う。

## 短期ホームステイ事業

**議員** 短期ホームステイ事業の今後の計画は。  
**担当課** 中学生を対象に国内で4泊5日程度の語学研修を行い、英語のみの生活で語学向上を図る。

## 婚活事業

**議員** 出会い応援（婚活）事業は以前の反省も踏まえ、どのように取り組んでいくのか。  
**担当課** 村内の独身者を対象に年2回程度イベントを計画している。細やかな配慮が必要な事業なので、専門の方にアドバイスを受けて実施していきたい。



## ウォーキングマイレージ

**議員** 概略で300万円を超える年間維持費だと思うが、どういう形で健康増進効果を測るのか。  
**担当課** 国民健康保険の加入者は、特定健診の結果を分析すれば健康状態が把握できると思う。

## 中間検証報告より抜粋

29年度地方創生事業の実施を前に、今後の財政面を考慮した上で事業計画を構築し、重点的に事業実施が行われること。また、国からの交付金を使った地方創生事業に関しては一般財源も用いられることから、地方創生調査検証特別委員会にて説明した後に申請することを要望する。

## 第3回定例会(3月)議決結果一覧表

区分	審議結果	議案一覧	賛成：○ 反対：●								
			長澤貞義	佐々木紀嘉	高倉寛視	梶原文明	高橋弘展	黒川隆康	梶原光春	伊藤均	柳瀬弘光
条例	可決	東峰村特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	東峰村税条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	東峰村農業委員会委員の選挙による委員の定数条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	東峰村農業委員会の選任による委員の団体推薦に関する条例を廃止する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29当初予算	可決	東峰村農業委員会の選任による委員の議会推薦委員に関する定数条例を廃止する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	平成29年度東峰村一般会計歳入歳出予算について	○	○	●	○	○	○	○	○	○
	可決	平成29年度東峰村簡易水道事業特別会計歳入歳出予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	平成29年度東峰村国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28当初予算	可決	平成29年度東峰村後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	平成28年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第6号)について	○	○	●	○	○	○	○	○	○
	可決	平成28年度東峰村簡易水道事業特別会計歳入歳出補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	可決	平成28年度東峰村国民健康保険事業特別会計歳入歳出補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可決	東峰村喜楽来館の指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 第2回臨時会(2月)議決結果一覧表

区分	審議結果	議案一覧	賛成：○ 反対：●								
			長澤貞義	佐々木紀嘉	高倉寛視	梶原文明	高橋弘展	黒川隆康	梶原光春	伊藤均	柳瀬弘光
その他	採択	植物工場誘致の中止を求める請願書について	○	●	○	○	○	●	●	○	○
その他	可決	旧宝珠山小学校の水耕栽培企業誘致計画の中止を求める決議について	○	●	○	○	○	○	●	●	○

## 第1回臨時会(1月)議決結果一覧表

区分	審議結果	議案一覧	賛成：○ 反対：●								
			長澤貞義	佐々木紀嘉	高倉寛視	梶原文明	高橋弘展	黒川隆康	梶原光春	伊藤均	柳瀬弘光
28補正予算	可決	平成28年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第5号)について	○	○	●	○	○	○	○	○	○
その他	可決	工事請負契約の締結について(公営住宅小石原上町団地建築工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# ここが聞きたい!

## 一般質問

1. 伊藤 均 議員  
水源の森交流館の運営者は決定しているか
2. 高橋 弘展 議員  
企業誘致は条例等で明示すべきでは
3. 長澤 貞義 議員  
火災通報から放水までの時間は
4. 佐々木 紀嘉 議員  
集落支援員の配置と集落対策は
5. 黒川 隆康 議員  
いきいきサロンへの支援は
6. 梶原 光春 議員  
公共トイレ浄化槽への見直しは
7. 柳瀬 弘光 議員  
観光事業者との連携はどう図るのか
8. 梶原 文明 議員  
29年度の職員採用数と職種は
9. 高倉 寛視 議員  
企業誘致についての請願書等への判断は



伊藤 均 議員

水源の森交流館の運営者は決定しているか  
— 村長 運営者等についての詳細は決定していない

議員 水源地域整備事業での村の実質負担額は約1億8000万円か。  
建設水道課長 東峰村の負担額としては、1億7964万2千円で過疎債等を活用したい。

村長 平成30年10月オープン予定で進んでいる。公募も29年度から行いたい。運営母体も決定していない。

議員 整備計画対象外である共同施設利用事業（農業倉庫）について、地区説明会が1度しか開催されていないが、説明責任は果たせたのか。  
農林観光課長 1回で説明責任や事業の理解が得られたとは捉えていない。年度中に説明会、意見交換会を開催する。

議員 校舎改修前に運営者や経営者が決定しないと運営が難しいのではないか。  
村長 村としても、一番懸念している。早めに事業者を公募しなければならぬ。



水源の森交流館完成予想図



高橋 弘展 議員

企業誘致は条例等で明示すべきでは  
— 村長 今後整備していきたい

議員 村は企業誘致の提案があった場合どういった条件で公共施設を貸し出すのか。  
村長 企業誘致に対して、賃借料の定めがなかった。木質ブロック企業の賃借料については、地価の相場や建物の耐用年数を考慮して算定している。

議員 誘致を行うのであれば誘致条件を条例や規則で明示すべきではないか。日田市や筑前町には企業誘致条例や普通財産貸付規則がある。条例や規則がないと企業の提示する条件でしか村は交渉できなくなるのではないか。  
村長 そういった条例等の整備は今後やっていきたい。



長澤 貞義 議員

火災通報から放水までの時間は  
— 村長 消防署のタンク車到着に10分かかかる

議員 火災発生から2分30秒で天井まで燃え移る。火災通報からサイレンが鳴るまでに2分から3分かかるとあるとのこと。また、先日の宝ヶ谷地区の火災では、消防署のタンク車到着までに約10分かかった。消火栓と消火器を使いボヤで済んだが、消火器と消火栓の適正な配置の考えは。

議員 庁舎の警備体制について  
元住民を社員として採用してもらい、警備にあたってもらおう取り組みが出来ないか。  
村長 村から職を斡旋するのは難しいのではないか。該当する方がいれば警備会社に問い合わせをしてもらいたい。

議員 企業誘致において貸付けの審査や判断はどのように行ったのか。  
村長 企業から提案があれば当然話は聞くし、雇用体系などを判断し、企業誘致を行う。木質ブロックや水耕栽培についても探した中で本村に来ていただく企業なので、できるだけ前向きな考え方で、村としては誘致を行っていききたい。



木質ブロック工場予定地

村長 先日の火災においては消火器が有効に利用され大火に至らなかったこともあり、自主防災を図っていくうえでも各家庭への消火器の設置を推進していきたい。消火栓の設置については水道管の口径や本管の交換等を考慮し、出来る限りの設置を今後図りたい。



消火栓



佐々木 紀嘉 議員

### 集落支援員の配置と集落対策は

— 村長 自治組織の創設、集落支援員は必要

**議員** 今回、モデルケースとして取り組む集落支援員は地域を支援、今後の村づくりに必要な支援体制と想っている、村長の考えは。  
**村長** 支援員の活動は、自治公民館や区長、地区担当職員との密接な連携・協働を図ること。行政への要望のとりまとめや、集落での祭りや行事の支援のほか、問題解決等が考えられる。

### 地域包括ケアについて

**議員** 地域包括ケアでは、ボランティア活動や住民同士の助け合いといった、住民力がポイントとなるが村長の考えは。  
**村長** 集落での助け合い、いわゆる共助について考える時期である。住み慣れた地域で、高齢者の皆さんが元気で自立した生活が続けられるように助け合うことが、地域包括ケアの目指すところだと考える。



**議員** 各地区の世帯人口は減少している、集落対策を考える必要があるのではないか。  
**村長** 集落機能の維持は早急な課題であり、まずは地域の実情を地域が知るために、集落点検が有効。



梶原 光春 議員

### 公共トイレ浄化槽への見直しは

— 村長 随時洋式トイレに取り替えて行きたい

**議員** 公共トイレの全面的な浄化槽への見直しの考えは。  
**村長** 公共施設のトイレは、和式トイレが多いので、随時洋式トイレに取り替えていきたい。

**議員** 柵田交流館前の駐車場整備の考えは。  
**村長** 地方創生で採択された整備事業として、ゲストハウスと柵田保全を含めて地元と協議していきたい。

**議員** 再質問だが、JR沿線の伐採の進捗状況はどうなっているか。  
**企画政策課長** 一部伐採は終わった。その他は地権者とまだ協議が出来ていない。

**議員** 村内にコンビニを建設する考えはないか。  
**村長** 村が設置すると民営圧迫となるので、出来れば民間で出店していただくのが良いと考える。

**議員** JR岩屋駅の整備計画の中で、一番重要な橋の架け替えはいつ行うのか。

**村長** 29年度に補助金の申請をして、早ければ30年度に実施したい。



岩屋公園のトイレ



黒川 隆康 議員

### いきいきサロンへの支援は

— 保健福祉課長 生活支援コーナーを配置する

**議員** サロン運営で必要なリーダー養成の考えは。  
**保健福祉課長** 生活支援コーナーディナーを配置し、業務の一部としていきいきサロンの指導者の育成を考えている。

### ウォーキングマイレージ事業について

**議員** 年代によって歩くスピードや距離が違うため、ランク付けにおいては年齢や障害等も考慮する必要があるのでないか。  
**村長** 皆さんが元気に、そして楽しくウォーキングができる体制をとっていかねければと考えている。そういったことも含めて、今後検討していきたい。

**保健福祉課長** 高齢者のニーズを把握し、新たに立ち上げる生活支援協議会において協議を行い、サービスに繋がっていきたい。また、必要に応じて運動機能や認知症予防に繋がるプログラム提案や、65歳以上が誰でも参加・運用ができるシステム構築を図っていきたい。



柳瀬 弘光 議員

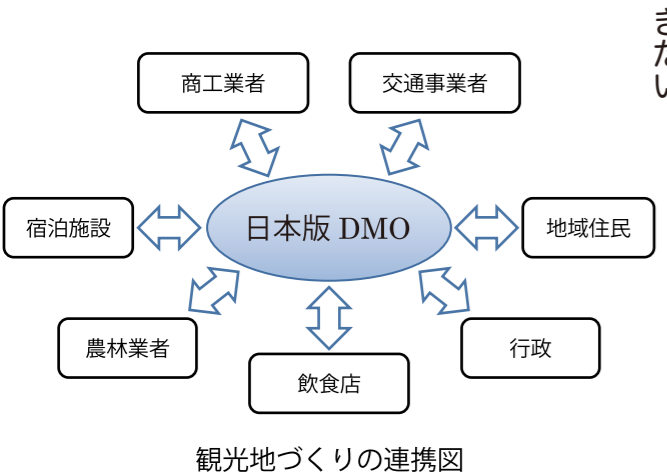
### 観光事業者との連携はどう図るのか

— 村長 関係者を含めて今後検討していきたい

**議員** 創生総合戦略の中で観光産業の育成として東峰村版DMO(観光地づくりを行う組織)設立・支援とあるが、役割・機能は。  
**村長** 村の観光を全体的に考える組織として、法人の設置を考えている。機能としては村の観光資源、イベント、PRプロモーション等の戦略を策定し、DMOを構成している事業者が収益を増大するための組織になればと思う。

**議員** 観光事業者との今後の連携は。  
**村長** 関係者を含めてどのようにしていくかは今後検討していきたい。

**議員** インバウンド(訪日の外国人旅行者)観光を受け入れるにあたり村の対応や考えは。  
**村長** 観光パンフレットは英語、中国語版も作っている。ホームページは英語、中国語、韓国語に対応している。今後は観



# 常任委員会視察研修

## 産業建設常任委員会視察研修

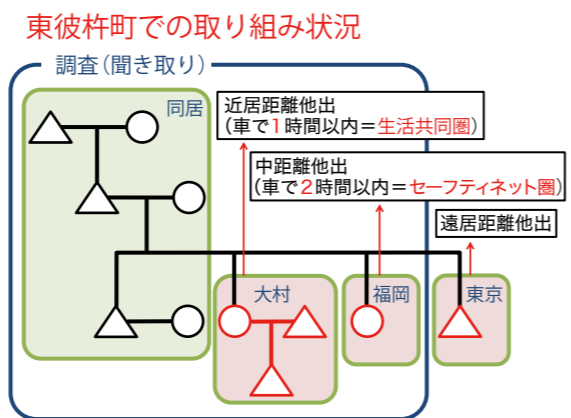
### 地域維持のための集落点検を実施 東彼杵町のまちづくりを研修しました

1月23日～24日、産業建設常任委員会で長崎県東彼杵町・波佐見町・松浦市にて視察研修を行いました。

東彼杵町は、平成26年5月に日本創生会議より発表された「消滅可能性自治体」と掲載されました。それを機に、平成27年より「これからの見据えたまちづくり」を実施のため、熊本大学名誉教授である徳野貞雄教授を招いて「T型集落点検」での自治体による取り組み状況と定住支援・空き家対策の取り組みを研修しました。

また、波佐見町の長崎県陶磁器卸商業協同組合にて波佐見焼の運営と地域商社設立についての取り組みを研修しました。

24日は、松浦市志佐町において平成18年より営業している獣肉処理施設「不老の森」の運営とイノシシ処理状況視察と松浦市における有害鳥獣対策状況を研修しました。



T型集落点検

※T型集落点検とは…集落に住む「世帯」だけではなく集落近郊に住むその世帯の子供を含めた「家族」を基準として集落の将来を考える手法



佐伯市役所にて

## 総務常任委員会視察研修

### 住民同士で支え合う仕組みづくり 竹田市のまちづくりを研修しました

2月8日～9日、総務常任委員会で大分県佐伯市、竹田市にて視察研修を行いました。

佐伯市では「地域包括ケアシステム」の総合的な取り組みについて研修を行いました。

また、東峰村の「いきいきサロン」と同様の「さいきの茶の間事業」については、実施内容や補助の仕組みなどを学びました。翌日の竹田市では、地域包括ケアシステムの独自の取り組みとして、「暮らしのサポートセンター」の話伺いました。このセンターは中学校区ごとに住民により組織し、若干の有償にて高齢者の生活をサポートする仕組みです。竹田市では、今後自治会や地域内の各種団体等が参加する地域コミュニティの組織化を図り、住民自治を推進していくそうです。

佐伯市役所にて

**議員** 大野城市の職員採用に、市内に住居を構えることを条件に採用されたこともある。定住は村の衰退を防ぎ、活性化が期待され、将来は家族も増えると思う。採用される職員の村内居住を条件にすることは出来ないのか。

**村長** 議員の考え方と同感である。村内で雇用すれば、人口対策にもなるが、試験の成績・面接と過程があるので、特段村内居住者を優先できない。



宝珠山庁舎

**議員** 高齢化は進み、集落に若者が少なくなる中で、空き家対策も含めて、新規採用職員の村内居住が出来るような方向性を考えてはどうか。

**村長** 移住・定住住宅のような独自案も非常に効果的になるかと思っています。

**議員** 宝珠山地区の議員は反対したので一旦保留というが、村長は議会の議決の重みは分かっているのか。村民が望んでいるのは即時中止である。

**村長** この件については、村長の執行権の範囲であり、宝珠山校区



旧宝珠山小学校

**議員** 2月22日臨時会で、住民団体が提出した「植物工場誘致の中止を求める請願書」、議員提出による「旧宝珠山小学校の水耕栽培誘致計画の中止を求める決議」が可決されたが、企業誘致をどうするのか。

**村長** 請願に反対された議員は旧宝珠山小学校の議員が多く、地域の住民全体の民意であったのかを考えている。本件については、一旦保留としている。

**議員** 宝珠山地区の議員は反対したので一旦保留というが、村長は議会の議決の重みは分かっているのか。村民が望んでいるのは即時中止である。

**村長** この件については、村長の執行権の範囲であり、宝珠山校区

**議員** 決議書や請願書まで出たのは、企業に対しての調査不足、村民への説明不足が招いた結果である。村民と話し合えないか。

**村長** 村民の意見も聞きながら、最終的判断をしたい。



梶原文明 議員

29年度の職員採用数と職種は  
— 村長 一般職3名である



高倉寛視 議員

企業誘致についての請願書等への判断は  
— 村長 宝珠山校区議員が反対し、全体の民意が分からない

東峰学園6年生は、昨年12月の議会傍聴の体験に引き続き、2月21日(火)に議場で「子ども議会」を開催しました。



# 東峰学園6年生が議会へするどい質問

6年生の社会科では「人々の願いとまちづくり」について学習しており、村が行う事業を議会で話し合い、決定する仕組みについて知ることをねらいとして開催されました。

議場では6年生が議員席側、議員は執行部席側に座って、本番さながらの議会形式で行われました。子どもたちにとって議場での質問は、議会の仕組みや予算についてなど初めての経験でもとても緊張したと思います。大きな声でするどい質問をしていました。

選挙権の年齢が20歳から18歳に引き下がり、全国的に小中高で子ども議会や模擬投票を開催する自治体や学校が増えていきます。将来を担っていく子どもたちにとって子ども議会の経験は、自分たちの住んでいる村の政治に関心を深める良い機会につながったのではないかと思います。

## 子ども議会での質問内容より

**6年生** 村議会の役割は何ですか。

**議員** 村民の悩みや課題を議会で村役場の方に伝える事、また、村役場から提案される計画について話し合って決定することが役割です。

**6年生** 議員という仕事で一番大変なことは何ですか。

**議員** 議会で村の課題について話し合って決めるときに、将来の事や村民の事を考えて賛成するか反対するか重大な事を決める時が大変です。



終了後、子どもたちが執行部席に座り議員が質問

## 編集後記

朝夕も日増しに暖かくなり、過ごしやすい季節となりました。

平成28年度の町村議会広報全国コンクールの結果が届きました。一昨年前に議会だよりのリニューアルを行ってから初めてのコンクールです。今回は、幅広い世代に受け入れられやすいことなどの評価を受けましたが、残念ながら入賞には至りませんでした。今後も読みたくなる「議会だより」を目指して頑張つてまいります。

議長	大蔵	久徳	副委員長	柳瀬	伊藤	弘光	委員会特別委員	高橋	弘展
発行責任者	大蔵	久徳	委員長	黒川	長澤	長澤	委員	黒川	隆康